

カバ校長が見つけたすてきな南小の3つのひみつ

つし丸君登場



その① 5つの木は3つの木から始まった

7月13日の中日新聞尾張版の記事となりました。南小には素晴らしい楠の木があります。これらの楠は昭和13年（今から75年前）、津島南小が現在の常磐町に移転して以来の楠もあるそうです。東門・正門・中庭にあります。これらの楠には名前がついています。今から14年前、当時の校長先生と教頭先生によって『3つの木（気） 元気の木・やる気の木・根気の木』と名付けられました。さらに10年前、新たに2つ楠を加え『5つの木（気） 勇気の木・本気の木』と名付けられました。木のネーミングは、人の生き方の根本を「木」と「気」に掛けて覚えてほしいという願いから始まりました。

その② 二宮さんの台座は元は別の銅像の台座だった

南小の運動場には二宮尊徳の石像があります。この石像を見るたびに不思議に思うことがありました。台座は像の名前が削ったあとがあるのです。なぜか。調べてみて分かったのですが、この台座は元々二宮尊徳石像のものではなかったようです。学校の記録を見てみると「二宮尊徳石像」は昭和15年に立ちました。ところがこの台座裏面には「昭和14年寄付」とあります。写真から、この台座は『乃木希典銅像』の台座であったようです。戦争中、銅像は供出されました。それで乃木さんがいなくなった台座に、昭和29年から二宮尊徳さんが立ったようです。像の譲り合いというよりは、戦争の悲しい記録なのかもしれません。

その③ 山口善五郎さんへのお礼の石碑でした

南小の運動場の南西隅に石碑が立っています。『山口氏賜金碑』何の石碑か調べてみました。これは、山口善五郎氏の記念碑。この碑文を読んでもみると「海東郡津島郷立高等小学校」の校舎を建築した時に、大阪市平野町の銀行家で資産家であった山口善五郎氏が多額の寄付をしたことを記念し、立てた石碑のようです。これは郷土の学校のために骨を折ってくださった先輩の記念碑です。